

コミュニケーション論A  
座り方

クジの席へ

例：3-6

前から3列目、左から6番目（空席は除く）

今日は同じ色の横2人でペアになって、インタビューし合います。

38 + 38 + 40 + 38 = 154人  
(教室は286席、定員の7/13で154人)

前方：教壇・ホワイトボード

A組  $2 \times 19 = 38$


B組  $2 \times 20 = 40$

C組  $2 \times 19 = 38$

D組  $2 \times 19 = 38$

	1	2	3	4	5	6	7	8
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								

後方：入り口



LAH.H107

# コミュニケーション論 A

## 第3回：相互インタビューと他己紹介

2022.6.27

リーダーシップ教育院・リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫 [tamio.nakano@me.com](mailto:tamio.nakano@me.com)

高尾隆 takao [at] takashitakao.net

(オブザーブ：鈴木健雄)

コミュニケーション論A  
座り方

クジの席へ

今日は同じ色の横2人でペアになります。  
さらに奇数列が後ろを振り向いて4人組を作ります。

38 + 38 + 40 + 38 = 154人  
(教室は286席、定員の7/13で154人)

19,20列は  
要調整

前方: 教壇・ホワイトボード

A組  $2 \times 19 = 38$

B組  $2 \times 20 = 40$

C組  $2 \times 19 = 38$

D組  $2 \times 19 = 38$

	1	2	3	4	5	6	7	8
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								

後方: 入り口





## 池上彰先生に「いい質問」をする会 5



開催日時：2022年7月5日(火) 18時00分～19時30分  
対象：本学学生および教職員  
定員：1,000名、先着順（要事前予約）  
参加費：無料

### 今回のトピックスは 「戦争」「経済」「仮想空間」

コロナ禍とウクライナ戦争により、世界中の経済の激変しました。加速した仮想空間—メタバース（VR）や拡張現実（AR）など、歴史と文明が大きく動いた2022年。

みなさんが抱く疑問や悩み質問を、池上彰先生にぶつけてください！

◆参加申し込みはこちらから:

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_3oXa5GCQScWfEjAzan5zc0](https://zoom.us/webinar/register/WN_3oXa5GCQScWfEjAzan5zc0)

◆事前の質問受け付けはこちらから:

[https://docs.google.com/forms/d/1phZyo4sta864cdCnvuRbpWxRbKiN-6xMiIPeP8zzjIQ/viewform?edit\\_requested=true](https://docs.google.com/forms/d/1phZyo4sta864cdCnvuRbpWxRbKiN-6xMiIPeP8zzjIQ/viewform?edit_requested=true)

※当日はZoomウェビナーのQ&Aでも質問を受け付けます。

主催：東京工業大学リベラルアーツ研究教育院



# コミ論A 全体の流れ (案)

状況に応じて変更あり

- 1) 6.13 : オリエン、グループワーク体験
- 2) 6.20 : コミュニケーションの基礎スキル
  - 聴くことと話すこと、意味と感情のやりとり、始め方。
- 3) 6.27 : 相互インタビューと他己紹介
- 4) 7.4 : ワールドカフェ (全員参加の対話)
  - 教室、W9-716(+a)
- 5) 7.11 : 創造的コミュ実習 : インプロ1
- 6) 7.25 : 協働的コミュ実習 : インプロ2
- 7) 8.1 : ふりかえりワールドカフェ

# 今日第3回アジェンダ

1420-1600

- 1420 オリエン
- 1430 4人組チェックイン
- 1440 相互インタビュー1
- 1455 相互インタビュー2
- 1505 清書タイム
- 1520 4人組で他己紹介
- 1545 全体で
- 1555 次回に向けて、FBシート記入



## User Local AIテキストマイニングに、154名の回答を入力 文書要約<ダイジェスト> 10行

- 相手が聞き上手だと、とても話しやすいことが分かった。
- 人と話すことはとても楽しいことだと思いました。
- 色々と意識して、人の話を聞いてみた。
- 話すことと聞くことの両方が会話では必要になる。
- 相手の表情をもっと気にして話すようにしたい。
- 1回目よりも2回目の方が人と話しやすいと感じた。
- テーマ設定を含む、環境づくりの重要性が理解できた。
- ブレストのコツのようなものがあるのなら知りたい。
- 話すことは楽しくてマインドフルネスは幸せな感じがした。
- 話し手だけでなく、聞き手にも難しい点が多くあった



# フィードバックシートより

(中野抜粋)

- ブレインストーミングの凄さを知った。
- アイスブレイクの大切さを知りました。
- 話すことは楽しくて、マインドフルネスは幸せな感じがした。
- 話しやすい雰囲気を作るためには、聴き手が場を作ることが重要だと感じた。
- 聴くことは耳プラス目と心であるということが印象に残った。
- 聴き方というのは普段あまり意識しないことだったが、話し方よりも重要なのかもと思った
- 相手が話しているときに、わからない単語や状況が分からなくなってしまったとき、すぐその場で聞いたほうがコミュニケーションが円滑になるということに気づいた。
- 第三者から自分の話の聞き方を見てもらったことで色々と発見することができた。
- 話を聞く時の表情がこわいらしいので気をつけようと思った。
- 関係の質が成果の質につながるという話を聞いて、確かにそうだなと感じた
- マインドフルネスがめっちゃ落ち着いた。一日の中でそういう時間が取れると人生が豊かになりそうな気がした
- 楽しかったです。アコギ歴6年です。ギター弾かせてください。Y.T

# 「会話」と「対話」と「議論」の違い

丁寧に分けて検討していきたい。

- 「会話」 (conversation)
  - 特定の目的や結論のない、おしゃべり、雑談。
  - 社交や情報を得る上で重要。オンライン時代に注目
- 「対話」 (dialogue)
  - 特定のテーマについて、きちんと向かい合って話し合うこと。二人には限らない。
  - 勝ち負けはなく、新たな「創造」につながる話し合い。
    - 自分の意見に固執せず「**想定**の**保留**」を！（D.ボーム）
- 「議論」 (discussion)
  - 元々、どちらの意見が正しいか、**正解**を競うもの。
  - **勝ち負け**がある（典型例はディベート）。**結論**が求められる。
    - \*但し日本では「ディスカッション」をととても幅広い意味で使う。

## 実習2：ブレインストーミング

- ブレスト：アイデアをどんどん出す発想技法
  - 頭を柔らかく、口を軽く。イノベーションに不可欠。
  - 賢いことを一発で言いたい「優秀な」人に有効！
- 4原則：
  - **批判厳禁**：頭ごなしに否定しない。なるほど～あるある！
  - **質より量**：いきなり良いものは出ない。数打ちや当たる。
  - **自由奔放**：遠慮は不要。突拍子もないものこそ。
  - **連結歓迎**：人のアイデアに便乗。それならこれも。

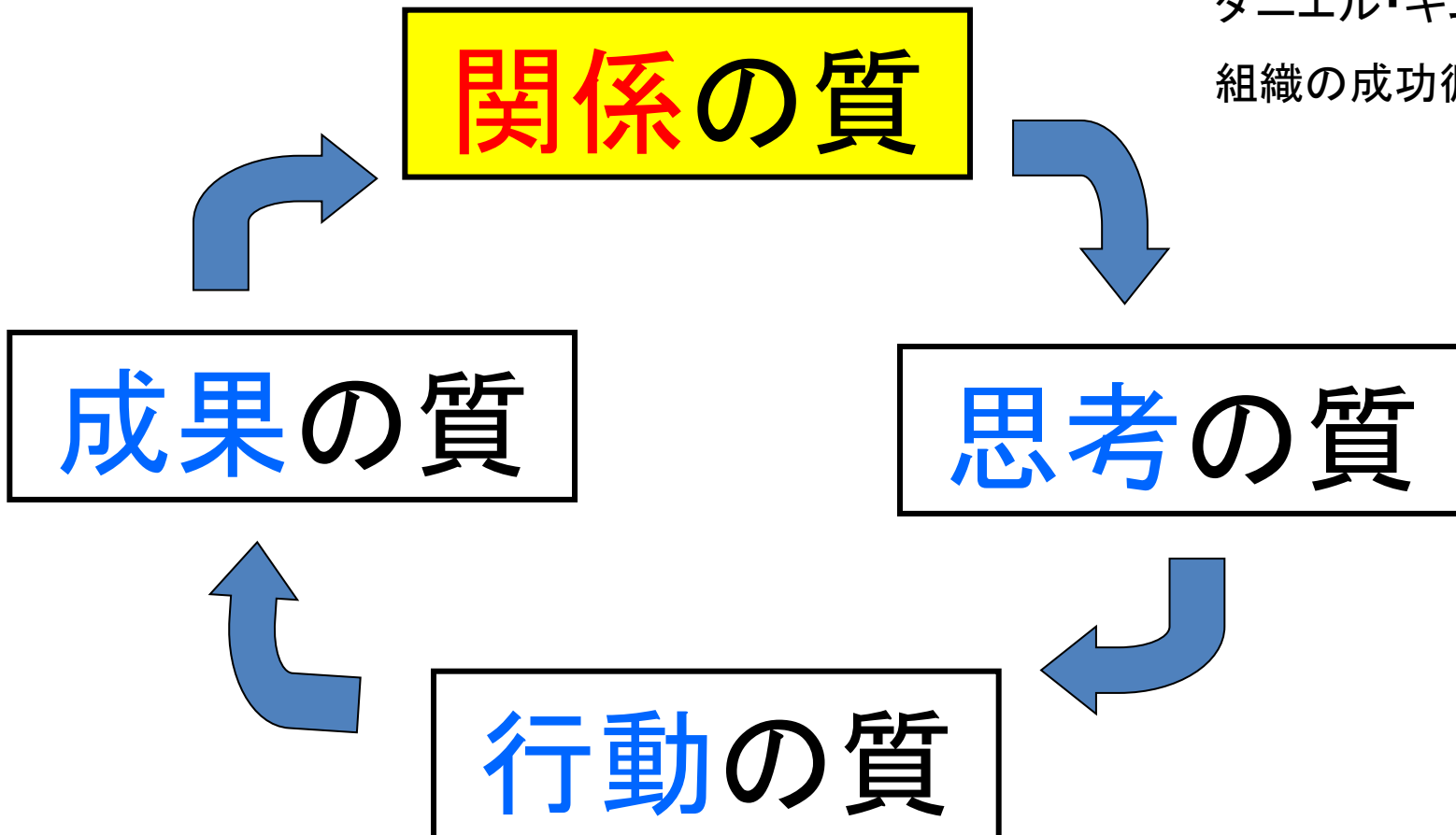
# 話し合いの始め方

- 導入：挨拶・オープニング
  - 最初が肝心。ちょっとテンション上げ笑顔で挨拶
- オリエンテーション
  - 何をやるうとしてるのか、目的（目標）・アジェンダ・役割・ルールを明確に説明。「土俵」を調える。
    - オリエンのOARR：Outcome, Agenda, Role, Rule (D.Sibbet)
- アイスブレイク
  - 知らない人同士や最初は緊張して当然。緊張の固い「氷」を溶かし、リラックスして話しやすい場を創る工夫を。
    - 「自分クイズ」など楽しいアクティビティ
    - 「自己紹介」「チェックイン」などお互いを知る



なぜ初めを丁寧にやるのか？  
「成果」を急ぐ前に、急がば回れ  
まずは「関係の質」を上げよう

ダニエル・キム  
組織の成功循環モデル



# コミュニケーションの基礎スキル

## 聴く力

- コミュニケーション = 意味 + 感情のやりとり
- 基本
  - お互いに関心を持つ。すると興味が湧いてくる。
    - 「**今ここであなたのことを理解したい**」 (ホスト王)
  - お互いの言いたいことを、しっかりつかみ合う。
    - 意味と感情両面で
- 話すスキル
  - 声、表情・視線、話したいことの明確化、語尾
- **聴くスキル**
  - 姿勢、表情、うなづく、反復、質問、広げる

参考：「コミュニケーションスキル」シートより  
齊藤先生（保健管理センター）資料より

- <聴くスキルの練習> 受け止めて（関心を持って）くれている！
  - 姿勢 : からだの角度（前後左右）、距離感、ファッション
  - 表情 : 柔らかさ、真摯さ、柔軟さ、一貫性
  - うなづく : 頻度、タイミング、抑揚
  - まなざし : 合わせ方、角度、目力、周囲を見渡す
  - くりかえす : 相手の話（の要点）を繰り返してみる
  - まとめる : 相手の話（の要約）をダイジェストしてみる

# 次回に向けて

- 次回は、相互インタビューと他己紹介
  - 質問案は次回提示します。
- 宿題：今日の復習
  - 「コミュニケーションは意味と感情のやりとり」ということと、「聴き方のスキル：表情、うなずき、確認・質問」を意識して、一週間過ごす。
    - 誰かに自分から話しかけて、話をよく聴いてみる。
    - そこで観察したこと、感じたことを次回持ち寄る。



# 4人組で顔合わせ

- 奇数列が後ろを振り向き、同じ色の4人組を。
  - 今日の後半、他己紹介をこの4人組で行います。
- チェックイン（自己紹介）
- お題
  - 1) 名前・所属（サークルなども）
  - 2) 好きなこと・よくやってること
  - 3) 宿題を意識して過ごしてみたら・・・
    - 意味と感情のやりとり、表情・うなずき、確認・質問

# 相互インタビュー と他己紹介

せんだいみやぎNPOセンターの元代表加藤哲夫さん（故人）に習ったワークを応用しています。

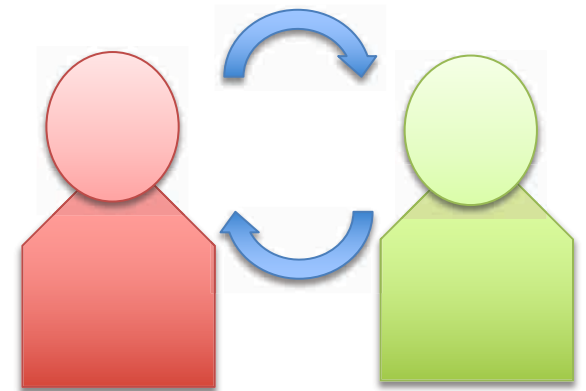
# 「取材」と「インタビュー」

共に「質問して情報を得る」営みだが

- 取材：
  - 「材」料を「取」りに行く。多くの場合は想定がある。
- インタビュー
  - Inter-view: 相手との間に広がる情景を共に観る。
  - 言葉の表面だけでなく、気持ちなどより深く探究。
    - 頭（思考・言葉）のレベル
    - 心（気持ち・感情）のレベル
    - 存在（身体性、Being）のレベル
      - 西村佳哲氏（『かかわり方のまなびかた』などの著者）の話を元に

# 相互インタビュー

- 2人組で、交代に聴きあいます。
- 一人10分ずつ、交代して、合計20分
  - 問いは別途示します。二人でタイムキープを意識。
- あとでインタビュー記事として清書し、他の人に読んで紹介しますので、**メモ**をとってください。
  - ただ、下ばかり見ないように。
  - にこやかな表情、うなずきなど





# 清書してインタビュー記事作り

- 聴いた内容を、A4一枚 (約1000字程度) にまとめて清書します。
- 本文の書き出しは、「私は○○ (相手の名前) です」。
- 最後に、一番上に見出しをつけ、右下に自分の名前を。

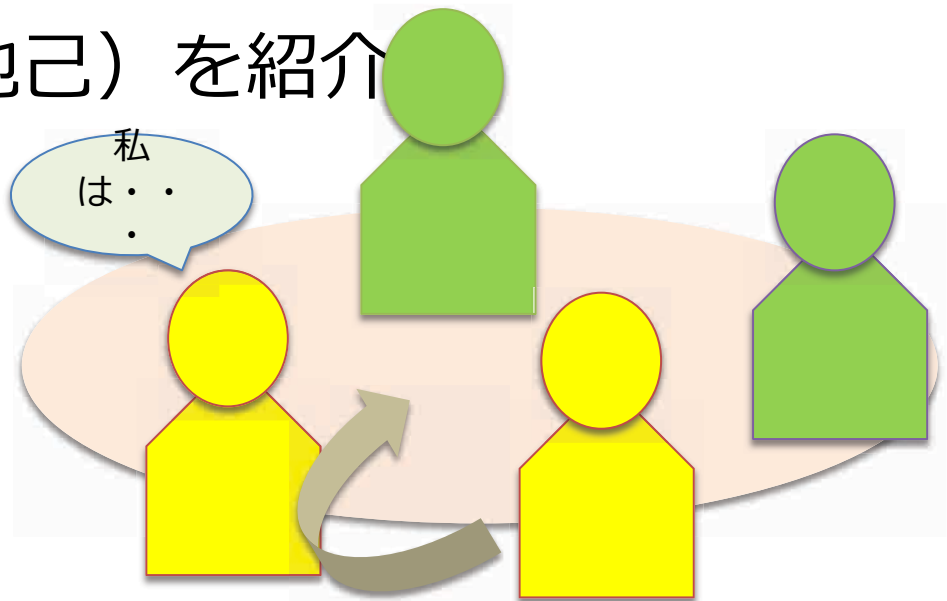
最後に「見出し (タイトル) 」

私は○○で  
す。 . . . .  
相手になりきっ  
て、一人称で、  
ポイントを、A4  
一枚にまとめる。

インタビュアー名

# 他己紹介

- 自己ならぬ相手（他己）を紹介
- 4人組（2ペア）で。
- 基本は清書した記事を読むだけ。
- 一巡したら、一連のワーク（話し、聴き、読み、読まれ）の感想をシェア
  - 万一誤解があったら修正を。
- 最後に相手に記事をプレゼント



# 問い（質問）

相互理解を深めるために。時間余れば自由に質問

- 0) まず挨拶。名前と所属をまず確認
- 1) どんな子ども時代、そして中高時代を過ごしましたか？
- 2) 東工大や今の学院を志望したのはどんなきっかけや思いからですか？
- 3) 大学生活、どんな気持ちでどう過ごしてますか？楽しいこと、困っていることは？また新しく始めたことは？
- 4) これからの学生時代、そして人生をかけて実現したい夢や「志」というとどんなこと？

# 「他己紹介」 -1545

- 4人組に戻します。
- (左前から) 順に書き上げた「インタビュー記事」を、書いた人が、声を出して読みます。
- 交代にペアを紹介し一巡。終わったら感想を。
  - 読まれる方(本人)は、自分の話がどう伝わって描かれているか、ちょっと客観的に聞いてみよう。
  - 聴いて、まとめて書いてもらい、読んでもらった感想は？
- 「伝える」と「伝わる」は違う。
  - 「伝えつつも」が、実際はどう「伝わった」のか。
  - もし、誤解や間違いがあったら訂正を。
- 最後に相手に記事をプレゼントし合おう

# 全体で

- 相互インタビューと他己紹介、どんな体験でしたか？
- どんな気づき・発見そして学びがありましたか？
- 少し声を聞きたいな。

# 次回に向けて

- 注意：次回は、教室が違います。
- W9-716（西9号館7階西棟）
- +714（西9号館7階東棟）
- ワールドカフェ：全員参加の対話ワーク  
シヨップ
  - 「えんたくん」を使って4人組の対話を3ラウンド楽しみたく。マスク着用のこと。
  - テーマ案：withコロナ時代を前向きに生きるには？など3つのお題考えるので、話したいテーマがあったら今日のフィードバックシートに書いて。

コミュニケーション論A  
座り方

クジの席へ

例：3-6

前から3列目、左から6番目（空席は除く）

今日は同じ色の横2人でペアになって、インタビューし合います。

38+38+40+38=154人  
(教室は286席、定員の7/13で154人)

前方:教壇・ホワイトボード

A組  $2 \times 19 = 38$

B組  $2 \times 20 = 40$

C組  $2 \times 19 = 38$

D組  $2 \times 19 = 38$

	1	2	3	4	5	6	7	8
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								

12列まで

W9-716

13列以降

W9-714

後方:入り口

# 生きてるうちに

2017年2月15日  
地球市民村仲間の計報に接して  
作詞・作曲：中野民夫

1)  
C G Am Em  
生きてるうちに 精一杯 がんばろう  
F C Dm7 G7  
がんばり尽くせばひとつに溶けて楽になれるから  
生きてるうちに 精一杯 楽しもう  
きつといつか そのうちにでなく 今ここで  
生きてるうちに 精一杯 歩こうよ  
小さな一歩 積み重ねれば 遠くまで行ける  
生きてるうちに 精一杯 学ぼうよ  
知れば知るほど 奥が深いよ この世界  
\*

Am Em Am Em  
たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと  
F G F G C  
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

2)  
生きてるうちに 精一杯 笑おうよ  
おなか抱えて 笑いに笑って 涙が出るまで  
生きてるうちに 精一杯 泣きましょう  
涙がなければ たましいに虹は 見えないから  
生きてるうちに 精一杯 怒ろうよ  
身近な人やささいなことより 社会の不正義に  
生きてるうちに 精一杯 愛そうよ  
愛だの恋だの恥ずかしいけど みんな大好きさ  
\*  
たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと  
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

\* \*  
生きてるうちに 精一杯 歌おうよ  
みんなで一緒に 謳い踊れば ラーラーラー  
ラー  
(ラララでもう1回～数回)



# グーグルフォーム フィードバックシート記入

- 今日はどんな学びがありましたか？どんな気づきや発見がありましたか？
  - 少し静かに自分の中で振り返って、簡潔かつ具体的に、今日やったことの何がどういう学びになったのか、記述してみてください。
  - <https://forms.gle/ZirPiV84HSzzw8iJA>
  - 出席確認を兼ねるので極力この場で15分以内にお願ひします。



注意：出席していないでフィードバックシートだけ出すのは不正行為です。東工大のルールでクォーターの全ての単位が取り消されます。